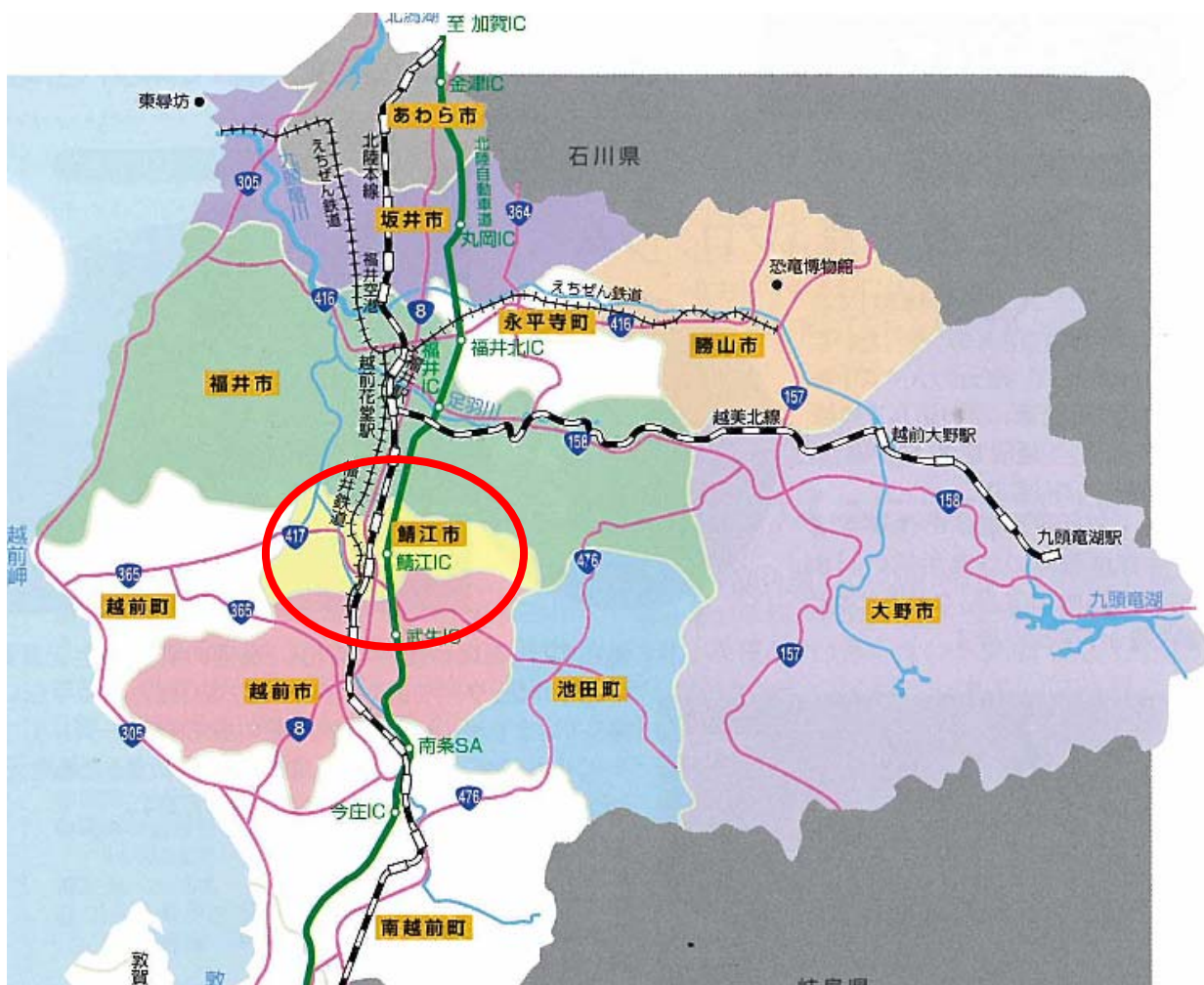


鯖江市 報告書



活動先：鯖江市河和田町

鯖江市は福井県のほぼ中央に位置し、北は福井市、南は越前市に隣接しています。東西約 18.6 km、南北約 8.4 kmにわたる地域のうち、その多くが平坦地であり、東部および南西の一部が山地となっています。市の中央を低い丘陵が南北に細長く延び、これに沿って市街地が形成されています。南北に幹線が3本縦断しており、この丘陵に沿って両側に国道8号線と西縦貫線、東側を北陸自動車道、JR北陸本線が走り、また日野川が北方に向かって流れ、潤いある生活と経済活動の中心となっています。

平成16年7月の福井豪雨にて、多大な被害を受けた場所であり、現在も普及作業が行われているが、手付かずになっているものも数多くあります。

活動内容：福井豪雨にて水災害にあった漆器の洗浄・整理

現在も水被害の後が残る漆器倉庫にて、将来的に漆器ミュージアムを建設するために、埋もれ、泥のついてしまっている漆器の洗浄・整理を行ないます。また、どのような漆器ミュージアムにしたら良いかなどのアイデアを出すお手伝いもします。

ボランティア募集の背景：福井豪雨での被害・人口減少・後継者不足

宿泊場所：空き家（男女別）

自炊（朝・昼・夕）。

9月14日（月）

- ・ うるしの里会館見学
- ・ 工房見学
- ・ 実演見学
- ・ 蒔絵師さんの作業見学
- ・ 地元の方々やNPOの方々との交流会



<14日(月) 学生の日誌より>

- ・ 漆器にふれ、興味をもった。プラスチック製品に負けないぐらい漆器を世の中に広めてみたい
- ・ 地元の方々のご馳走をふるまってくださり、食器もお膳もすべて漆器で用意して下さった。感動した！
- ・ 地元の子どもたちと汗をかくくらい遊びまわった。
- ・ 地域の方々と交流できてよかった。
- ・ あまり知られていないけど、河和田市は漆器の全国シェア約80%、ゴミの分別も最先端！コシヒカリの発祥地は、実は福井県。職人はすごい！みんないい人、お米おいしい！
- ・ 漆器はもし壊しても直すことができる。(エコにはなるが採算はとれない。それでも直してくれる)
- ・ 漆器は現在、分業で作られていることを知った。

9月15日(火)

- ・ 山田定衛門さんの水災害にあった漆器倉庫の片付け
- ・ 漆器の洗浄・整理



<15日(火) 学生の日誌より>

- ・ 最初は何をどうすればいいかわかりませんが、だんだん作業になれてくると自分なりに考えて行動できるようになりました。漆器が泥で汚れており、駄目になったものもありましたが、まだ再生できるものも多かったことに驚きました。
- ・ 最初に比べるとかなり(倉庫)片付いたので、達成感がありました。きれいな模様の漆器を発見したりしながら、楽しんで作業することができました。大変そうに見える作業でしたが実際は大変というより、楽しいという気持ちのほうが大きかったです。
- ・ 直に、漆器に触れることで素材のあたたかみや魅力が伝わってきて漆器に対しての見方が変わった。
- ・ わたしたちが動くことで、地域の方々も動き、一緒に協力できてよかったです。一人では重荷であることもみんなですると、はかどることを再確認。
- ・ 1日だけでは時間が足りない！もっと滞在して完璧にキレイな状態にしたかった！
- ・ お椀やおぼんだけではなくて、いろいろな形や色の食器・灰皿などがあって楽しかった。使用法や素材などについても詳しく教えてくれた。
- ・ 寒かったり、ほこりまみれになったり、大変な作業でしたが、受け入れ先の方が「夢にできるくらい悩んでいたのだから嬉しい！」とおっしゃっていて、こちらも嬉しくなりました。
- ・ 最終日まで気を抜かず頑張ります！

9月16日(水)

- ・ 漆器の清掃・片付け
- ・ 宿泊場所の清掃
- ・ ディスカッション



<16日（水）学生の日誌より>

- ・ アライグマが壁に挟まって一晩中鳴いていたので、力つきていないか心配。救出できますように！
- ・ 漆器をどう再利用するか、漆をどう使うかアイデアを出し合いました。これまでの漆器のイメージだけでなく、新しいイメージが必要だと感じました。
- ・ ちゃんとしたお椀には和紙をはさみこむこと。伝統には伝統を用いることがわかりました。

<この3日間を一言で>

- ・ とても充実した3日間だと思います。貴重な経験を多くさせていただきました。
- ・ 「ありがとう」という言葉の嬉しさを実感できました。
- ・ 3日間を鯖江ですぐすこと、漆器のこと、鯖江のことをいろいろ知りました。
- ・ 都会にはないものが、ここにはたくさんある！
- ・ 大変だったけど楽しかった！
- ・ 本当の意味の“やさしさ”にふれることができた。
- ・ 漆器づくしの3日間でしたが、とても身近に漆器を感じることができました。